

## 不登校児童生徒支援における学校内別室への支援員派遣事業

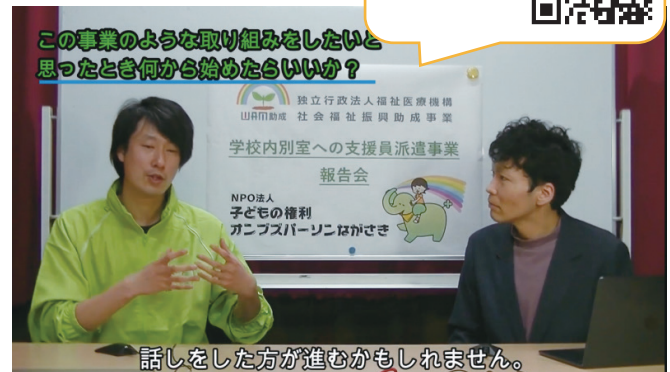
【事業費総額 4,024 千円 (WAM助成金 3,971 千円)】

YouTubeにて動画公開中

[https://www.youtube.com/watch?v=rVta\\_Pp2uvQ](https://www.youtube.com/watch?v=rVta_Pp2uvQ)



おもちゃコーディネーターによる支援員研修



認定 NPO 法人アカツキ (外部評価団体) 永田氏との対話

### 団体設立経緯および WAM 助成の応募経緯

平成 31 年、こどもの命や権利、意思が尊重される社会を目指して長崎県にて相談支援事業を開始し、令和 2 年に NPO 法人化しました。

「不登校傾向」時点での支援における課題を抱えるなか、「学校内別室」の体制整備が課題解決の糸口であると確信し、今回の事業を実施しました。

### 事業実施内容

不登校支援のなかで、不登校が深刻化し学校復帰が難しいケースが多く、「不登校傾向」時点での支援の必要性を実感しましたが、受け身の不登校支援での支援範囲の限界が課題でした。その課題解決の糸口を探るなかで、学校での不登校傾向支援を担う「学校内別室」が教職員の多忙等より対応が追いつかず、機能不全の状況に陥っている現状を把握しました。そこで、「学校内別室」へ支援員を派遣し、教室で過ごすことに抵抗感を持つこどものために教室とは別の居場所を学校内に確保することで、不登校傾向にあるこどもに対して早期から支援することを目指しました。

長崎市内の小・中学校各 1 校へ支援員を派遣し、校内巡回の際の積極的な声かけが利用のハードルを下げたほか、教職員の理解促進にもつながり、「学校内別室」利用の促進を図りました。

また、学校向け『校内別室支援ガイド』の作成・配布や報告会の実施等、事業の普及・啓発に貢献しました。

### 事業成果

学校や教育委員会と連携しながら、「学校内別室」への支援員派遣を 1 年間で計 130 回実施し、延べ 441 名のこどもと関わりました。特に小学校での支援については想定の約 3 倍のこども達と関係性を築き、不登校傾向の時点で関わりをもち、早期支援につなげることができました。

### 同事業に対する評価

こどものいのちと権利を守ることを目的に、こどもの意思を尊重することを第一に活動が実施されました。学校や教育委員会との連携を密にし、地域のニーズに応じた支援が実施され、また、外部評価団体を利用し実施事業のモニタリングが図られることにより事業の進捗や振り返りが効果的に行われている点を評価しています。支援を実施する現場のさまざまな声を汲み取り、教員や保護者といった関係者の理解を得ながら、支援に対する理解が促進されている点についても評価しています。

団体の理念に賛同する人材の確保、育成を進め、活動が地域に根付くことを期待しています。

**NPO 法人**  
**子どもの権利オンブズパーソンながさき**  
(長崎県長崎市)

U R L  
<http://komb-nagasaki.sakura.ne.jp/>

